

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 7 年 5 月 26 日(2025.5.26)

【公開番号】特開 2023-173519(P2023-173519A)
【公開日】令和 5 年 12 月 7 日(2023.12.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-230
【出願番号】特願 2022-85829(P2022-85829)
【国際特許分類】
G 0 1 R 1/067(2006.01)
【F I】
G 0 1 R 1/067 C

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 5 月 15 日(2025.5.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

中空のバレル部を有する導電性の第 1 プランジャと、
前記バレル部内を摺動自在で、前記バレル部の開口した端部から突出する導電性の第 2 プランジャと、
前記バレル部の内側に設けられ、前記第 1 プランジャと前記第 2 プランジャとを互いに離れる方向に付勢するスプリングと、を備え、
前記スプリングは、疎巻部と、前記疎巻部の一端側に位置して前記第 1 プランジャに当接する第 1 座巻部と、前記疎巻部の他端側に位置して前記第 2 プランジャに当接する第 2 座巻部と、を有し、前記第 1 座巻部及び前記第 2 座巻部は前記疎巻部とは異なる径であり、
前記第 1 座巻部及び第 2 座巻部の中心軸は、前記疎巻部の中心軸に対して同一方向にオフセットしており、
前記疎巻部は、前記第 1 座巻部と前記第 2 座巻部との間に亘って径が同じである、プローブ。

30

【請求項 2】

前記第 1 座巻部及び前記第 2 座巻部は前記疎巻部よりも大径である、請求項 1 に記載のプローブ。

【請求項 3】

前記第 1 座巻部及び前記第 2 座巻部は前記疎巻部よりも小径である、請求項 1 に記載のプローブ。

40

【請求項 4】

前記疎巻部の外周端と、前記第 1 座巻部及び前記第 2 座巻部の外周端とは、前記疎巻部の中心軸に対する前記オフセット方向の反対側の外側で揃っている、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のプローブ。

【請求項 5】

前記第 1 座巻部が嵌まる凹部が前記バレル部の内側底面に形成されている、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のプローブ。

【請求項 6】

中空のバレル部を有する導電性の第 1 プランジャと、

50

前記バレル部内を摺動自在で、前記バレル部の開口した端部から突出する導電性の第 2 プランジャと、

前記バレル部の内側に設けられ、前記第 1 プランジャと前記第 2 プランジャとを互いに離れる方向に付勢するスプリングと、を備え、

前記スプリングは、疎巻部と、前記疎巻部の一端側に位置して前記第 1 プランジャに当接する第 1 座巻部と、前記疎巻部の他端側に位置して前記第 2 プランジャに当接する第 2 座巻部と、を有し、前記第 1 座巻部及び前記第 2 座巻部は前記疎巻部とは異なる径であり、前記第 1 座巻部及び第 2 座巻部の中心軸は、前記疎巻部の中心軸に対して同一方向にオフセットしており、

前記第 1 プランジャは、前記バレル部の内側底面に前記第 1 座巻部が嵌まる凹部を有し、前記凹部の底面は、前記バレル部の中心軸に垂直な平坦面に形成されている、プローブ。

10

20

30

40

50